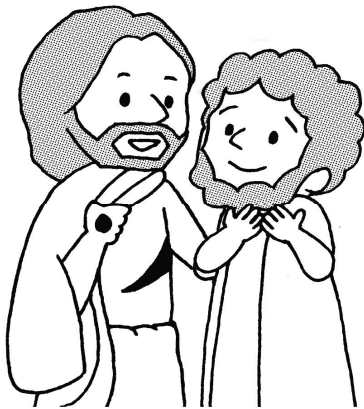


進級式



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 20・24～29

信仰への招き

信じない者にならないで、信じる者になりなさい。

ヨハネ 20・27

目標

キリストの導きの中で目に見えないキリストを信じる者となる。

4月7日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・24～29

見ないで信ずる者は、さいわいである。 29節

「うっそう！ホントウ？」「信じられなあい」というような時、あなたならどちら？「信じます？」「いや、信じられません？」ここに登場するのは「疑い深い」とレッテルを張られているトマス。彼は「見なければ、決して信じない」という人でした。彼は考えようによれば、「正直」だったのです。イエス様は彼のすべてをご存じで、八日後、二度目にトマスのいる所に来てくださいました。ひれ伏すトマスに、「信じる人になりなさい」と言われます。

祈り 天のお父様、あなたやイエス様を見ないで信じることが、どんなに幸いなことであるかが、よくわかりました。

4月8日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・19～23

そう言って、手とわきとを、彼らにお見せになった。弟子たちは主を見て喜んだ。 20節

マグダラのマリヤから、復活の主にお会いしたと聞いても、弟子たちはユダヤ人をおそれて、戸をピタッとしめ切っていたのでした。週の初めの日の夕方のことです。戸がしまっていたのに、イエス様が入ってこられて、彼らの中に立って「安かれ」と言われ、手とわきとを見せてくださいました。弟子たちの喜ぶ顔が目に見えようですね。弟子たちは主を見て喜んだのでした。その弟子たちをイエス様は聖霊に満たしておつかわしになるのです。

祈り 天のお父様、何がうれしいと言って、よみがえられて生きておられるイエス様を見る喜びは最高の喜びです。

4月9日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・24～25

わたしは、その手に釘あとを見、わたしの指をその釘あとにさし入れ、また、わたしの手をそのわきにさし入れてみなければ、決して信じない。 25節

「残念だったねえ、トマス！」「君も一緒にいたらよかったのに」、「イエス様とお会いしたんだよ」。弟子たちだって、イエス様を見たから喜んで信じたのでした。トマスだけ疑い深い人間だとみんなから言われていますが、トマスは正直だったのです。信じるふりはできなかったのです。だから、こんなふうに言うしかなかったのですね。「ちゃんとこの目で見て、この指でさわってみるまでは絶対に信じられないよ」とね。

祈り 天のお父様、わたしも時には信じられないと思えるような時があります。ありのままあなたにお祈りしていきます。

## 4月10日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 20・26～29

トマスはイエスに答えて言った、  
「わが主よ、わが神よ。」 28節

イエス様がトマスのそんな心を知らないはずがありません。イエス様はわたしたちの苦しみ悩む心をよーくわかってくださって、イエス様らしい方法で素晴らしく解決してくださいます。八日後です。今度はトマスも一緒にいた時、戸が閉められていたのに弟子たちの中に来ていただきました。そしてトマスに、「さあ、指をわきに入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」と言われ、トマスは心から主を礼拝しました。

いの祈り 天のお父様、イエス様を生きておられる神様として心から礼拝し、見ないで信じるさいわいな者になります。

## 4月11日（木）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 4・16～18

わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。18節

あなたの目はよく見えますか？視力1.5だとバッチリですね。でも肉眼は時々見まちがえたり、見そこねたり、そして段々と視力が落ちます。それに目に見えるものは一時的で、どんどん変化したり、なくなっていったりします。何て心細く、頼りないことでしょうね。でも、見えないものに目を注ぐ世界があります。信仰の目をもって見る世界です。目に見えず、手に取って見せてあげられない大切なものがいっぱいあります。永遠に続くものです。

いの祈り 天のお父様、目に見えるもの、目から飛び込んでくる一時的なものに、振り回されないようお守りください。

## 4月12日（金）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 5・1～10

わたしたちは、見えるものによらないで、信仰によって歩いているのである。 7節

「それで、わたしたちは心強い」と続いています。きのうも見ましたように、見えるものは、本当に一時的でどんどん変化したり、なくなったり、過ぎ去ったりしていきます。どうですか？あなたのかわいいペットも、もしかしていなくなったかもしれませんね。見えるものを頼ったり、あてにするのではなく、見えないもの、すなわち、目に見えないけれど、ちゃんとおられる神様を信じる信仰によって歩くなら、心強いし、安心して進めるのです。

いの祈り 天のお父様、見えるものではなく、それを造り、治めておられる、目に見えないあなたを信じて歩ませてください。

## 4月13日（土）

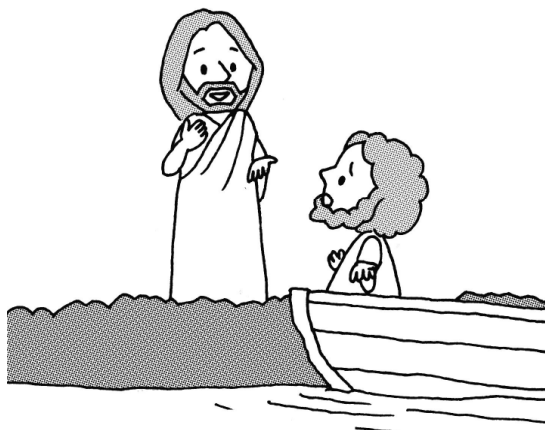
聖書  
聖句

ヘブル 12・1～2

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。 2節

「イエスから目を離さないでいなさい」と新改訳聖書にはあります。「一体、何を信じていったらいいのかしら」、「一体、何に頼っていったらいいのかしら」、「一体、何を見つめていったらいいのかしら」と、みんなさがし求めているにちがいありません。そこで、「ハイ！イエス様ですよ！」と、わたしたちは迷わず、言えるのです。イエス様は信仰者のお手本です。父なる神様を信じぬき従いぬいて、今、天の座についておられます。しっかり見つめ続けましょう。

いの祈り 天のお父様、どんな時も、何が起ころうといつでもイエス様を仰ぎ見つつ、目を離さず進んでいけますように。



聖書

ヨハネ 21・1～14

テーマ

暗唱聖句

夜明けに立つキリスト  
夜が明けたころ、イエスが岸に  
立っておられた。ヨハネ 21・4

目標

失意を喜びに変えようと  
して待っていてくださる  
キリストを見上げる。

4月14日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 21・4

夜が明けたころ、イエスが岸に立っ  
ておられた。4節

あなたは、お父さんやお母さんのこと大好き  
き？ 大好きな人がいつもいっしょにいてくれた  
らとってもうれしいし、ほっとするよね。でも、  
どんなに大好きな家族でも、いつでもいっしょ  
にいてあげられません。眠っているとき、学校に  
行くとき、ひとりで歩いているとき、お友だち  
とケンカしたり何か失敗したそのとき、家族の  
人はあなたを守れません。どうしよう！？

イエス様は、朝も昼も夜も、ひとりぼっちの  
ときも、嬉しいときや悲しいときも、わたした  
ちを見守っていてくださり、元氣と勇気をくれ  
るよ。なんてうれしいお約束だろうね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様がどんなときもいっ  
しょにいてくれることを感謝します。

4月15日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 21・1

そののち、イエスはテベリヤの海べ  
で、ご自身をまた弟子たちにあらわ  
された。1節

イエス様は、十字架にかかって三日目によみ  
がえったあと、お弟子さんたちにあらわれ、元氣  
づけてくださいました。そして、ガリラヤでま  
た会えるよ、と約束してくれていたの。だから  
お弟子さんたちはガリラヤにでかけ、イエス様  
に会えるのを楽しみにまっています。

でもどうしてお弟子さんが漁をしていると  
きに？ しかもどうして夜明けなのかなあ？

イエス様は、お弟子さんたちが失敗するとき  
やがっかりするとき、イエス様の助けが必要な  
ときをちゃんとわかっていてくれたんだね。

いの  
祈り

天のお父様、いつも助けが必要な時を知っ  
ていてくださるイエス様に感謝します。

4月16日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 21・2～3

しかし、その夜はなんの獲物もな  
かった。3節

ペテロたちは、イエス様に出会ったとき、漁師  
の仕事はやめていましたが、イエス様がいな  
いと何をどうしていいのかわかりませ  
ん。「また、魚でもとりに行くか」とみんなで漁  
にでかけました。きっと、漁師だったから魚な  
んで、いくらでもとれるよね！ところが、夜中  
がんばっても、魚は一匹きもとれなかったの。

お弟子さんの中で、だれも、神様にお祈りし  
ていないみたい！自分の力でなんとかなるっ  
て思ったかな？ 信仰の大切さをいつも教えてく  
れたイエス様のこと、よみがえったイエス様の  
こと、わすれちゃったかな？ あなたは、しっ  
ぱいしたとき、イエス様を思い出しますか？

いの  
祈り

天のお父様、いつもイエス様のことを思い  
だしてすごせますように。

## 4月17日(水)



ヨハネ 21・5~6

舟の右の方に網をおろして見なさい。  
6節

大好きなイエス様はいないし、とれるはずのお魚もぜんぜんとれない！きっとお弟子さんたちはひどくがっかりしたでしょうね。

そんなとき、岸に立っているだれかが「舟の右の方に網をおろしたらきっと何かとれるよ」と教えてくれました。漁のことなら、今まで漁師だったお弟子さんたちの方がよく知っていたけれど、すなおに従ってみました。すると！網がやぶれそうなほどたくさんのお魚がとれたのです！やったあ！大成功だ！

そう、成功のひみつは、今までどれだけ頑張ったとか知恵をつけてきたか、ではなく、どれだけイエス様のおことばにすなおに従えたか、なのです。それは従った人だけがわかるよね！

**祈り** 天のお父様、わたしもお弟子さんのようにイエス様のおことばにすなおに従います。

## 4月18日(木)



ヨハネ 21・7~8

あれは主だ。  
7節

網がやぶれるくらい沢山のお魚がとれたとき、お弟子さんは、前にもこんなことがあったなあと思いました。

そう、イエス様にであった日にも同じことがあって、イエス様は「あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」と言っていた。そして、わかったのです！岸に立っているあの人はイエス様だって！ヨハネが「あれは主だ」と言うと、みんなはもう心がばくはつしそうなくらいうれしくなって、舟にいたペテロさんは海にとびこんで、岸までおよぎしました。

イエス様は、みんながイエス様のことに気づかないときから、見守っていてくれるお方。イエス様がわかったなら、あなたの心にも大きな大きなよろこびがやってくるよ！

**祈り** 天のお父様、わたしの心もイエス様がわかる喜びでいっぱいにしてください。

## 4月19日(金)



ヨハネ 21・9~13

さあ、朝の食事をしなさい。  
12節

イエス様は漁に行っていたお弟子さんたちのために火をおこし、お魚とパンを用意して、まわってくれました。おなかですいているのも知っていたんだね。

イエス様が十字架につくとき、お弟子さんたちはみんなイエス様といっしょにいてあげられず、にげたりかくれたりしたんだ。ペテロだって3回も「イエスなんて知らない！！」と言ったりしたね。わたしたちもきっとそうするよね。

でも、イエス様は、そんな失敗ばかりの弱い人でも責めないんだ。いつもあたたかくて、やさしくて、どんな時もいっしょにいてくださり、必要なものをくださるお方だよ。

**祈り** 天のお父様、イエス様がいつもやさしくはげましてくることを感謝します。

## 4月20日(土)



ヨハネ 21・14

イエスが死人の中からよみがえったのち、弟子たちにあらわれたのは、これで既に三度目である。  
14節

人間だれもが、いつかは死ぬね。人間は、死の力には勝てません。でも、イエス様はちがうの。わたしたちに永遠の命を与えるため、死の力にうち勝ってくれたんだ！

イエス様はよみがえりのすがたであらわれて、イエス様を信じる人には、死にも、いろんな問題にも勝つ力が与えられることをおしえてくれたんだよ！イエス様みたいにつかまって死にたくないとかわがっているお弟子さんに、よみがえりなんて信じないって言ったお弟子さんに、死がかなしくて泣いている人たちに、そして、いろんなことでがっかりしている人たちにもね。

**祈り** 天のお父様、イエス様を信じるとき、死やいろんな問題にも勝てるから感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 21・15～23

わたしを愛するか

わたしを愛するか・・・

わたしの小羊を養いなさい

目標

ヨハネ 21・15

キリストの愛の招きに応え、キリストを愛し、仕える者となる。

4月21日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 21・15～19

あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか。 15節

お友だちに裏切られたことありますか? 「くやしいし、悲しいし、どうしていいかわからない。もう顔も見たくない」と思ったのでしょうか。実は、イエス様もそんな心の痛いことがあったのです。一番弟子のペテロさんに、「あの人のことは知らない!」と三度も言われたのです。十字架にかかる前にね。でもイエス様はペテロを愛とゆるしの眼ざしで見つめました。復活してペテロに近づき、ゆるし、愛を求め、そして「わたしの羊を養いなさい」と、使命を与えられました。

いの  
祈り

天のお父様、ペテロのように弱いわたしも愛し、ゆるしてください感謝します。あなたを心から愛し続けます。

4月22日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 21・1～3

しかし、その夜はなんの獲物もなかった。 3節

ここでもペテロはリーダーです。「わたしは漁に行くのだ」と言うと、そこにいた他の弟子たち数人も、「わたしたちも行く」と言って舟に乗りました。彼らはイエス様から、「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」(マタイ 4・19)と言われていたのを忘れてしまったのでしょうか? 自分の心の思うままに、もとの漁師にもどって漁に出かけました。しかし、1匹もとれなかったのです。やっぱり、主から離れるとダメですね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のことを忘れて、自分の思うままにしても、何の収穫もないことがよくわかりました。

4月23日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 21・4～6

舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう。 6節

暗い夜、そう、弟子たちにとっては心もまっ暗でしたが、その夜が明けたころ、イエス様が岸に立っておられました! まさに、夜明けとなりました。ところが、弟子たちはだれもイエス様だとは気づきません。「何か食べるものは?」「ありません。」「舟の右の方に網を」と言われて、弟子たちがそのあたりに網をおろしてみました。すると! どうでしょう! 網が上がらないほどの大漁! イエス様のお言葉をそのまま信じて従うと、すごい事が起こるのですね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様から離れると何もできません。でもイエス様につながると多くの収穫があると信じます。

## 4月24日（水）



ヨハネ 21・7～8

イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「あれは主だ」と言った。7節

ヨハネは自分のことを「イエスの愛しておられた弟子」と記しました。（ヨハネさん、あなただけじゃないよ、わたしだってそうよ、とカゲの声？）そのヨハネはとてもデリケートでしたから、「アレ？こんなこといつかもあったぞ。あつ、イエス様だ」とわかり、ペテロに、「あれは主だ」と叫んだのでした。その声にペテロはびっくりしました。裸になっていたのも、おそれ多く思って、あわてて上着をつけて、海にとびこんだのでした。ペテロらしいね。

いの

祈り 天のお父様、すぐにイエス様だとわかった愛の使徒ヨハネのように、わたしも主と深い愛の交わりができますように。

## 4月25日（木）



ヨハネ 21・9～14

イエスは彼らに言われた、「さあ、朝の食事をしなさい。」 12節

夜明けの湖のほとり、すがすがしい朝の空気の中、陸に上がってみると、そこには炭火がおこしてありました。ペテロは一つの場面…たき火にあたっていた時のこと…を思い出したかもしれません。その上には魚があり、パンもありました。網を引きあげてとれた魚は 153 びきもありました！さあ、朝の食事です。弟子たちはイエス様とわかっていたので、黙々と食べました。イエス様ご自身がパンや魚を与えてくださって、接待してくださったのでした。

いの

祈り 天のお父様、仕えられるためではなく、仕えるために来られたイエス様の愛がひしひしと伝わってきて、感謝です。

## 4月26日（金）



ヨハネ 21・15～17

わたしの羊を養いなさい。 17節

「この人たちが愛する以上に、わたしを愛するか」。〈「たとい、みんなの者があなたにつまづいても、わたしは決してつまずきません」。（マタイ 26・33）と言ったつけ…。「わたしを愛するか」。「わたしを愛するか」。〈わたしは三度、イエス様を知らないと言った…。〉ペテロの心はズキズキうずいて、でも、「わたしがあなたを愛していることは、おわかりになっています」とくり返しました。イエス様は、そのペテロをもう一度信頼して、大切な仕事を任せられました。

いの

祈り 天のお父様、だれの愛にも比べることのできないズバぬけた天の愛、アガペーの愛、イエス様の愛に圧倒されます。

## 4月27日（土）



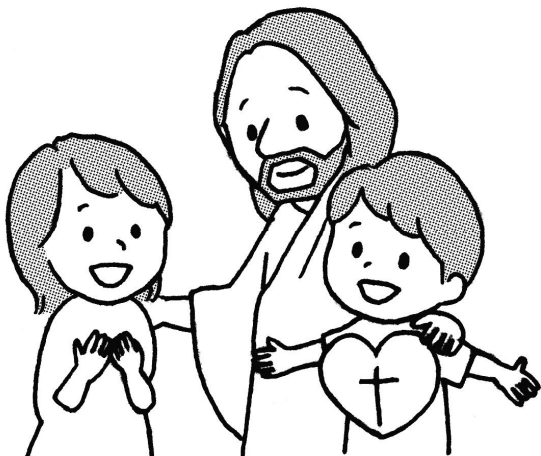
ヨハネ 21・18～22

あなたは、わたしに従ってきなさい。 22節

それからイエス様は、ペテロの将来のことをお話しになってから、「わたしに従ってきなさい」と言われました。ふとペテロがふり返ると、ヨハネがついて来るのが見えたのです。ペテロはヨハネのことがとても気になって、「主よ、この人はどうなのですか」と、ついたずねてしまいました。「あなたにはなんの係わりもない。あなたは、わたしに従ってきなさい」。わたしたちも、あの子のことや、この子のがきになっても、「わたしは主に従います」と決心しましょう。

いの

祈り 天のお父様、あなたは一人一人にちがった計画をお持ちです。「わたしはあなたにどこまでも従います」。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 28・16～20  
キリストと共に遣わされる  
見よ、わたしは世の終りまで、  
いつもあなたがたと共にいる  
のである。 マタイ 28・20  
共におられるキリストを覚え、  
宣教に遣わされる者となる。

目標

4月28日（日）

聖書  
聖句

マタイ 28・16～20  
見よ、わたしは世の終りまで、いっ  
つもあなたがたと共にいるのである。  
20節

進級式や入学式から1ヶ月くらいたちまし  
たね。どんな毎日だったでしょう？復活のイエ  
ス様といっしょだから大丈夫だったでしょう？  
今日も力強いイエス様のみ言葉の約束をに  
ぎって、新しい一週間を始めましょう。イエ  
ス様は、「天においても地においても、いっさい  
の権威を授けられた」お方。そう、全宇宙で一番  
強いお方なのです！だって、死の力を打ち破ら  
れたのですから。そのお方が世の終りまで、一日  
一日、すべての日、いっしょにいてくださいま  
す。

いのちの祈り 天のお父様、復活されたイエス様が毎日共  
にいてくださり感謝です。イエス様のこと  
を伝えていけますように。

4月29日（月）

聖書  
聖句

マタイ 1・18～23  
見よ、おとめがみごもって男の子  
を産むであろう。その名はインマヌ  
エルと呼ばれるであろう。 23節

マタイはその福音書を、「神様が共におられ  
る」で始め、「共におられる」で終わっています。  
その中にも「共におられる」のメッセージを入れ  
ました。イエス様のお名前がイザヤの預言では  
『インマヌエル』と記されています。これはヘ  
ブル語で、訳すと「神われらと共にいます」と  
いう意味なのです。そもそもイエス様ご自身が  
神様であって人となられた、神ともにいますお  
方。そして、その神様が私たちとも共にいてく  
ださるという感謝な名前です。

いのちの祈り 天のお父様、インマヌエルというお名前の  
救い主イエス様が、いつもどんな時も共に  
いてくださってうれしいです。

4月30日（火）

聖書  
聖句

マタイ 18・15～20  
ふたりまた三人が、わたしの名に  
よって集まっている所には、わた  
しもその中にいるのである。 20節

わたしたちがお祈りできるって、すごい事だ  
すね。二人がどんな願い事についても地上で心  
を合わせてお祈りしたら、天にいますイエス様  
の父なる神様がそれをかなえてくださるという  
のです。そして、二人でも三人でもイエス様の  
お名前によって集まっている所には、「わたし  
もその中にいるよ」とイエス様がおっしゃって  
います。本気でお祈りしてみませんか。だれか  
と集まるなら、イエス様もそこにいてくださ  
います。きよい集まり！いいですね。

いのちの祈り 天のお父様、二人でも三人でもイエス様の  
み名で集まるなら、インマヌエルの主がそ  
の中にいてくださり、感謝です。

## 5月1日（水）



マタイ 28・16～20

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。  
20節

日曜日に読んだのと同じ聖書の個所で、同じ暗唱聖句です。覚えていますか？もう見ないで言えますか？マタイはこのようにして、最後にも「わたしは共にいる」とインマヌエルでしめくくっています。特にどんな時かと言うと、「すべての国民を弟子として」「バプテスマを施し」とあるように、インマヌエルの主の福音を宣べ伝える時です。お友だちにイエス様のこと、教会のことを話すのは勇気があるよね。そう、その時！共にいてくださるのです。

**祈り** 天のお父様、すばらしいイエス様を伝えようとする時、特に「わたしは共にいる」とのお約束で励まされます。

## 5月2日（木）



マルコ 16・14～18

全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。15節

オー！復活のイエス様からの、ものすごいご命令だなあって思いませんか？全世界に出て行きなさい、すべての造られたものに、イエス様の十字架と復活による救いの福音を宣べ伝えなさいというものです。なぜって、世界中の人が救われなければならないからです。日本人だけでなく、全世界のどんな国の人もです。だからすべての造られた人に伝えなければなりません。すぐ隣りの人もそうです。お家の人もです。将来宣教師になっていく人もあるかもね。

**祈り** 天のお父様、造られたすべての人、全世界の人が必要な福音を、わたしも信じられて感謝です。伝える人にならせてください。

## 5月3日（金）



マルコ 16・19～20

主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。  
20節

イエス様は、「行きなさい」と言われるだけではないことが、ここでわかりますね。弟子たちは言われたとおりに出て行って、いろんな所で、どんどん福音を宣べ伝えました。使徒行伝にも書いてあるし、多くの宣教師物語を読むとわかります。その時、「主も彼らと共に働き」と書いてあるとおりに、たしかに生きておられる復活のイエス様が、弟子たち、宣教師たちと共に働いてくださって、多くの実が結ばれてきたのです。今も主は働かれます。

**祈り** 天のお父様、今や全世界にいろんな形で福音が伝えられていて驚きです。わたしも、小さくても伝えさせてください。

## 5月4日（土）



Ⅱテモテ 4・1～8

御言を宣べ伝えなさい。2節

大迫害者サウロ、そのサウロが復活のイエス様と出会って、とらえられて大伝道者パウロに、見事、変身！イエス様の愛にパンパンに満たされて、遠く、ヨーロッパにまで福音を伝えました。命がけの3回の伝道旅行でも復活のイエス様がいつもパウロと共におられました。地上のお仕事もう終わりそうと、愛弟子テモテに最後のお手紙を書きました。「御言を宣べ伝えなさい」と。み言葉と共に聖霊が働いてくださいます。み言葉カードを配りましょうか。

**祈り** 天のお父様、すべての人が必要なのは命のみ言葉です。お祈りしてカードを人々に配ります。祝福して用いてください。





聖書

使徒1・9～11

テーマ

キリスト再臨の約束

暗唱聖句

イエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであらう。

使徒1・11

目標

復活昇天の主は、再び地においでになることを信じる。

## 5月5日（日）

聖書  
聖句

使徒1・11

イエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであらう。11節

イエス様は、よみがえりの日から40日、お弟子さんたちにあらわれて元気と勇気をあたえ、はげましてくれました。そして、とうとう天におかえりになる日がきたのです。

え～ん！！やだよ！！イエス様がいなくなったらどうしていいかわからないよ！って思う？

イエス様は、そんなわたしたちに約束してくれました。また来てくださるって！！

いつイエス様が来てもいいように、イエス様が喜ばれる毎日にしたいし、沢山の人がイエス様に喜んで会うために、イエス様を伝えよう！

いの祈り

天のお父様、イエス様に沢山のひととお会いできるように、じゅんぴしていきます。

## 5月6日（月）

聖書  
聖句

使徒1・9

こう言い終ると、

9節

えっ？なにを言ったのかなあ？

じつはね、イエス様は、天にのぼるまえに、お弟子さんたちに「聖霊」をくれるって言ったの！聖霊をもらおうとどうなるの？

聖霊をもらった人は、イエス様の愛やきよさ、神様をしらないでいる人たちを助けたい！というきもちがドッカーンって心にあふれるよ！そして、なによりも、目には見えないけれど、いつもイエス様といっしょにすることができて、次にイエス様に会う日がくるまで、イエス様のことをみんなに伝えるパワーがもらえるんだ！あなたは、聖霊をもらっていますか？

いの祈り

天のお父様、わたしも聖霊をもらって、心にイエス様の思いとパワーがいっぱいになりますように。

## 5月7日（火）

聖書  
聖句

使徒1・9

イエスは彼らの見ている前で天に上げられ、雲に迎えられて、その姿が見えなくなった。9節

「天国や神様なんてうそだ！」ってたくさんの人が言います。でも、イエス様のことを知っているみんなは天国も、神様のことも信じることができるね！それってやっぱりお弟子さんたちが本当に「見たから」「伝えたから」だよ！

イエス様が天に上げられるのを見ながら、お弟子さんたちは「天国って本当にあるんだ」「イエス様はいつも天国や天のお父様のおはなしをしてくれたなあ」「イエス様はやっぱり神の御子だったんだ」と心から信じられたでしょうね。

あなたは「天に上げられたイエス様」のこともおなじように信じていますか？

いの祈り

天のお父様、お弟子さんたちが見て、伝えてくれたこのできごとを信じます。

## 5月8日（水）



使徒1・10～11

なぜ天を仰いで立っているのか。  
11節

ぼ～っとするのが好きな人いませんか？目の前にとってもたいせつなものやできごとがあるのに「べつに～」「あ、そうなんだあ」なんて言っている人、いないですか？

お弟子さんたちも、イエス様が天に上っていかれるのを、ただ、ず～っとず～っと見ていたかったかもしれないね。

そんな時に天使さんからのひとこと！

「ぼ～っとしてるだけでいいの？」そう、何もしていないのではなく、何を見たのか、何を信じているのか、天国やイエス様のこと、みんなに伝えに出かけるじゅんぴをしないとイケないね！イエス様がまた来られるから！

**祈り** 天のお父様、わたしも何もしないでいるのではなく、イエス様のために何かします。

## 5月9日（木）



マタイ 24・42

だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。  
42節

お客さんがとつぜんやってきたけど、おへやがぐちゃぐちゃにちらかっていて、はずかしかった！ってことは今までになかった？いつ、大切なお客さんが来てもいいように、おへやはいつもきれいにしていたいね。

イエス様も、いつ、あなたのところへ来てくださるかはわからないんだって！イエス様が来てくれたのはいいけれど、心の中が罪でぐちゃぐちゃだったら、喜んでイエス様に会える？

だから、いつも心の目をパツと開いて、罪が入って来ないようにするのです！

**祈り** 天のお父様、いつでもイエス様に会えるように、心の目をさましています！

## 5月10日（金）



マタイ 24・3～14

そしてそれから最後が来るのである。  
14節

すてきな服をきて、おいしいごはんを食べて、あたたかいお風呂やベッドに入ること、ほしいものはお父さんやお母さんにおねだりすれば買ってもらえる、そんな毎日があたりまえだと思っている人はいませんか？地球や宇宙もず～っと昔から変わらないし、これからも変わらない？

イエス様は「最後がくる」って教えているよ。そのころには地震やききん、せんそうのうわさ、悪いじけん、うそのキリストが現れるって。そんな中でもぜったい忘れてはいけないこと！それは、ただ、イエス様のお約束だけをつよくつよく信じ続けること！これだけなのです！

**祈り** 天のお父様、イエス様のお約束はぜったいだって、つよくつよく信じていきます！

## 5月11日（土）



使徒1・11

イエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう。11節

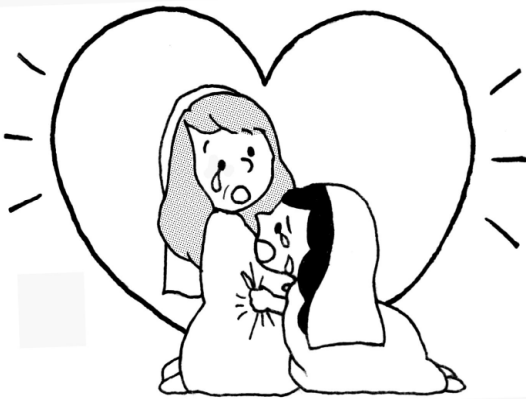
一週間、イエス様がまた来られること（再臨）をず～っと考えてみてどんなふうに思った？早くイエス様に会いたい！って思えた？それとも、今はまだ心のじゅんぴができていないって思った？なんだか怖いって思った？

でも、お父さんやお母さんに約束をかなえてもらったらすごくうれしいでしょう？それ以上に待ちに待ったイエス様とのお約束がかなう日はどれだけすばらしいだろうね！

神様を信じるわたしたちには、この日は人生でさいこうの喜びの日、勝利の日、えいえんの平和がくる日、いちばんの希望なんだよ。

**祈り** 天のお父様、お約束の日はわたしにとってもしちばんの喜びの日です。

母の日



聖書

ルツ 1・15～18

テーマ

祝福された人

暗唱聖句

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。

目標

ルツ 1・16  
神を愛し、人を愛して、神に祝福される生涯を送る。

5月12日(日)

聖書

ルツ 1・16

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。 16節

今日は母の日だね！あなたをこの地球に生み出してくれて、あなたを守り、育ててくれるお母さんに「ありがとう」のきもちを伝えよう！

さて、今日のみ言葉はルツが、ナオミという人に言った言葉です。ナオミはルツの本当のお母さんじゃなかったけれど、ルツは自分の国や人生を捨ててまで、ナオミについて行きたい！って思ったみたい。どうして？？

いっしょに過ごすうちに、ナオミの信じている本当の神様のことを知り、ルツも本当の神様に従って生きていこうと決心したんだろうね。ルツにとって、ナオミは心のお母さんだね！

いのちの祈り

天のお父様、わたしもルツのように信仰の決心をして生きていきます。

5月13日(月)

聖書

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。 15節

エリメレクとナオミという夫婦に、マロンとキリオンという二人の息子がいました。すんでいたベツレヘムがききんになったとき、この家族はモアブという所にげました。でも、エリメレクは死に、二人の息子もモアブ人のお嫁さんと結婚しましたが死んでしまうのです。さいごに残ったのは二人のお嫁さんだけ。

けれどもナオミは、二人のお嫁さんたちのために神様の祝福があるようにお祈りして、故郷のモアブに返してあげようと思いました。ナオミは、どんな辛いときでも自分のことでなく、相手のことをいちばんに考える人だったんだね。

いのちの祈り

天のお父様、人のことをいちばんに考えられる優しい心をください。

5月14日(火)

聖書

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。 15節

今日は、昨日のおはなしのつづきだよ。

一人目のお嫁さんはオルパ。じつは、モアブという所ではいろいろな偶像がおがまれている。オルパはそこへ帰って行っていたんだ。

あなたは、今、本当の神様を信じていますか？これから大きくなって、いろんなことがあるでしょう。それでも最後まで神様を信じ、死んで天国に行くまで神様といっしょに人生をすごしますか？神様は、ひとり子イエス様の命をくださるほどにあなたを愛してくれています。

大切なのは、愛してくれる神様の愛からはなれないで、あなたも神様を心から愛しつづけていくことなのです。

いのちの祈り

天のお父様、ずっと一生あなたの愛を信じてあなたを愛しつづけます。

## 5月15日（水）



ルツ1・16

わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。  
16節

今日は二人目のお嫁さん、ルツのおはなし。  
ルツは、故郷に帰るように言われてもナオミからはなれようとはしませんでした。

自分のこれからの人生を考えたら、故郷に帰って結婚しなおして生きて行く方がずっと楽だったんじゃないかなあ。

人間はだれでも自分が幸せでいられる人生をすごしたいものだけど、自分がそんをしたとしても、だれかのため、そして神様のために自分をささげていく生き方もあるんだ。

じつは、そういう生き方が人にも神様にもよろこばれる生き方なんだ。それが愛なんだ。



天のお父様、自分がとくするための人生でなく、あなたと人に自分をささげられる愛の人生をあゆみたいです。

## 5月16日（木）



ルツ1・17

あなたの死なれる所でわたしも死んで、そのかたわらに葬られます。  
17節

インドで、貧しい人や、捨てられたこども、病気で死んでいく人のために自分の一生の何もかもをささげた、マザーテレサを知ってる？  
マザーテレサはよく「大切なことは、遠くにある人や、大きなことではなく、目の前にある人に対して愛をもって接すること」と言っていたの。

ルツも同じだね。ただ、自分が今、だれを愛さないといけないのか、だれに自分の愛を使わないといけないのか、よくわかったんだね。そして、ルツは「しばらくの間」でなく「死ぬまで」ナオミを愛そうと思ったのだからすごい！



天のお父様、なかなかできないことですが一生をだれかのためにささげてゆく大きな愛を教えてくださいありがとうございます。

## 5月17日（金）



ルツ1・17

わたしがあなたと別れるならば、主よ、どうぞわたしをいくえにも罰してください。  
17節

神様を信じ、どこまでもしたがっていく信仰、辛く悲しいときも神様からぜったいはなれないなら神様は助けてくれる、そう信じてますか？

ルツがナオミをこんなにも愛する気持ちはなかなかマネできないこと。だけど、天の神様はご自分の命よりたいせつなイエス様をわたしたちのために十字架につけてくださるほど、愛してくれるお方でしょう？

こんなにも愛してくださる神様をつよく信じるなら、フシギ！あなたの心にも神様の愛があふれだして、目の前にいる人をつよく愛しているのです。



天のお父様、ほかの人を愛するために、あなたの愛をもっともっと信じます。

## 5月18日（土）



ルツ1・18

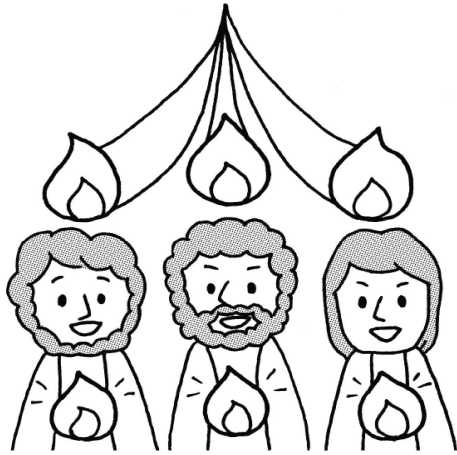
ナオミはルツが自分と一緒にいると、固く決心しているのを見たので、そのうえ言うことをやめた。  
18節

どうしてナオミは言うことをやめたんだと思う？いじけちゃったから？ルツが頑固だから？ケンカになっちゃうから？いえいえ、きっと違うよね。人のためにいっしょうけんめい何かをしてあげることも愛だと思うけれど、だれかの気持ちを受け止めたり、受け入れてあげることも愛！それは大きな心でないとなかなかできないことだね。ナオミは、ルツの心をつみこんで受け入れられる大きな心を持っている愛の人だったんだろうね。あなたをまるごと受け入れてくれる神様の愛のようだね！



天のお父様、人のために何かをするだけでなく人を受け入れる愛の心をください。

ペンテコステ



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒2・1～11

ペンテコステの恵み

一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

使徒2・4

目標

聖霊に満たされ、造り変えられて生きる。

5月19日(日)

聖書  
聖句

使徒2・1～17

わたしの霊をすべての人に注ごう。  
17節

ペンテコステおめでとうございます。今日はイエス様が復活して50日目、お約束の聖霊が天から注がれた日を記念します。ちょっとおもしろいこの記念日の名前は、ギリシャ語の50をあらわす言葉からつけられました。聖霊降臨日、そして教会誕生記念日です。昔は、特別な人々、つまり、王様とか祭司とか預言者たちにだけ油注ぎといって、聖霊が注がれましたが、イエス様が来られた終りの時、今はすべての人に注がれます。小さいあなたにだって、ですよ。

祈り 天のお父様、私の上にもお約束の聖霊が注がれることを知りました。ありがとうございます。祈り求めています。

5月20日(月)

聖書  
聖句

使徒2・1～4

すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。 4節

「まだかな?」、「きょうもまだなのかな?」、弟子たちは、一日、二日、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日・・・、祈りに祈って、「本当かな?」ともチラッと思ったかもしれません。でも、待ち続けました。本当ですとも! 神様は約束をきちんと守られました。五旬節の日、復活から50日目! 祈り出して十日目! 突然、天からの聖霊が降りました! 風のような音、舌のようなものが炎のように分れて一人ひとりの上にとどまり、みんな聖霊に満たされました。

祈り 天のお父様、あなたのお約束には絶対にまちがいがありませんでした。私も信じて祈って待ち望みます。

5月21日(火)

聖書  
聖句

使徒2・5～13

あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くとは、どうしたことか。 11節

祈りに祈った弟子たちの心の中の汚れや醜いものは、炎のような聖霊の火によって焼き尽くされました。そして聖霊によってイエス様がなされた、大きな愛による救いのみわざを話し始めたのでした。そこにいた色々な国々、民族の人々がわかる彼らの言葉でね。アパルームで祈った人々は120名ばかりの人々でしたが、その人たち、一人ひとりの上に聖霊が注がれました。そこにいたまわりの人々は、本当にびっくり仰天! だったのがよくわかりますね。

祈り 天のお父様、聖霊なる神様が心に満ちてくださると、心の汚れがきよめられ、あかしの舌が与えられると知りました。

## 5月22日（水）

聖書  
聖句

ヨエル 2・28～32

その後わたしはわが霊をすべての  
肉なる者に注ぐ。 28節

「あの人たちは新しい酒に酔っているんだ」とあざけり笑う人々もいました。そこでペテロが聖霊に満たされて立ち上がりました。「いや、ヨエルの預言のとおりのおこったのだ」と。ヨエル書を調べましょう。ペテロの言ったとおりですね。「すべての肉なる者（人）に注ぐ」とあります。むすこ、娘は預言をする、老人たちは夢を見る。素敵な輝く老人になれる！若者たちは幻を見る！生き生きと、未来に向かって神と共に生きる若者たちに！

いの 祈り 天のお父様、あなたの約束の聖霊が注がれる時、どの年代の人でも本当に輝いて生きられることを感謝します

## 5月23日（木）

聖書  
聖句

ルカ 11・1～13

天の父はなおさら、求めて来る者に  
聖霊を下さらないことがあろうか。 13節

「イエス様、私たちにもお祈りを教えてください」と、弟子たちはイエス様の祈るお姿を見て言いました。するとイエス様は、「主の祈り」を教えてくださいました。あなたはもう「主の祈り」を覚えましたか？ ゆっくりお祈りしましょう。そして「一生懸命求めるなら与えられます」と教えてくださいましたのです。人間の父でも、子どもが求めるそのものを与えるのです。だから、天の父は一番よい贈り物である聖霊を、求めて来る者にきつと与えてくださいます。

いの 祈り 天のお父様、どう祈ってよいかわからない時、「主の祈り」をします。そして、聖霊を求めてお祈りします。

## 5月24日（金）

聖書  
聖句

ガラテヤ 2・19～21

生きているのは、もやは、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。 20節

聖霊のバプテスマは、水のバプテスマ（洗礼）を受けた人が、その次に与えられるものです。「きよめの恵み」とも言われます。洗礼をまだ受けていないお友だちも、聖霊のバプテスマがどんなものなのか知っておくことはとてもよいことです。古い私は、心の中にガラテヤ 5・19～21節のような醜いものをもっています。今日のみ言葉によって、そんな私は、イエス様と共に十字架につけられて死んだのだと信じます。もう私ではなくイエス様が私のうちに生きておられると信じます。

いの 祈り 天のお父様、自分の心や人の心を傷つける「古い私（自我）」を十字架につけて、イエス様に生きていただきます。

## 5月25日（土）

聖書  
聖句

ガラテヤ 5・16～26

御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であつて、これらを否定する律法はない。 22～23節

私たちの心に、聖霊によってイエス様を主様としてお迎えすると、素晴らしい実がどんどん結ばれて、心の中からあふれ出て来ます。だってイエス様ご自身がこのようなご性質のお方だからです。実はイエス様以外には、この世界この宇宙に、こんなうるわしい実を結ぶことができる人はだれ一人いません。イエス様は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制そのもののお方です。イエス様、私の心をあなたで満たしてくださいと叫びたいです！

いの 祈り 天のお父様、この世の中であって、こんなうるわしい実を結べる人生を与えてくださる恵みを感謝いたします。



聖書

使徒3・1～10

テーマ

暗唱聖句

キリストの名による歩み  
ナザレ人イエス・キリストの名  
によって歩きなさい。使徒3・6

目標

キリストによって力強くさ  
れて生きる。

5月26日（日）

聖書  
聖句

使徒3・6

ナザレ人イエス・キリストの名に  
よって歩きなさい。 6節

なんだか毎日おんなじことのくりかえしで疲  
れたな～…なんて、暗い気持ちになっている人、  
いませんか？そして、心に元気がないとき、あ  
なたはどんなことをして自分を元気づけていま  
すか？ゲームをしたり、お友達とあそんだり、  
テレビを見たり、お金もちになったらって想像  
する人もいるかなあ。でも、お金も、あそびも、  
趣味も、楽しいって思えるのは、ほんの一瞬。

だから、どうか思い出して！あなたの罪を背  
負って十字架にかかってくれたイエス様の大き  
な大きな愛を！死んでも生きる命をくれたイ  
エス様の愛の力があなたを本当に元気にして  
くれること！イエス様の愛の力で生きよう！

祈り

天のお父様、本当の元気をくれるイエス様  
の愛の力で今日もすごせますように。

5月27日（月）

聖書  
聖句

使徒3・1～2

ペテロとヨハネとが、午後三時の  
祈のときに宮に上ろうとしている  
と、生れながら足のきかない男が、  
かかえられてきた。 1～2節

神様に信仰をテストされたことあるかなあ？  
それはとつぜんやってくるけれど、テストに  
合格できるかどうかは、神様とあなたがいつも  
どんな関係でいるかがとても大切なのです。  
毎日の生活の中で、聖書をよみ、お祈りすると  
いうことは本当に大切なんだ。

ペテロは、イエス様が十字架にかかるとき、  
3回もイエス様をしらないと言った弱い人だっ  
たね。でも聖霊を受けたペテロは、前の弱いペ  
テロではなかったの。

さあ、信仰のテストが始まるよ！

祈り

天のお父様、信仰のテストに合格できる  
聖霊の力を与えてください。

5月28日（火）

聖書  
聖句

使徒3・3～5

ペテロとヨハネとは彼をじっと見  
て、「わたしたちを見なさい」と言っ  
た。 4節

ペテロとヨハネが出会ったのは、生まれてか  
ら一度も立ったことのない人でした。いつも美  
しの門の前に、物のように置いてもらってお金  
をもらうことしかできない、そんな人。この人の  
前を通りすぎて行く人たちは、きっとこの人を  
「かわいそう」とか「きたないこじきだな」と  
か、そんな風にしか見ていなかっただろうね。  
でも、ペテロとヨハネはちがったの。イエス様が、  
罪人や、病気のの人を見つめる、信仰の目、イエ  
ス様の目で見つめたんだね。

イエス様の目で見るとき、その人が本当に  
必要なもの、自分に何ができるかがわかるよ。

祈り

天のお父様、イエス様の目で人や物ごとを  
見ていただけますように助けてください。

## 5月29日（水）



使徒3・4～5

わたしたちを見なさい。

4節

「わたしを見て！」っていうときは自分がめだちたいときや、気にしてほしいときが多いね。聞かれた人も「何？何かくれるの」なんて、わくわくしちゃうかなあ？でも、ペテロたちの「見なさい」はちがうみたい！

ペテロたちは、イエス様からたくさんのものをもらってきました。それはね、イエス様の愛、赦し、本当の喜びや信仰…。ペテロたちはきつとイエス様からもらったものをあげたかったんだね。そして、人間の力ではなんにもできないけれど、神様にはできないことはないことを教えたかったんだね。あなたも、お友だちに「見て」っていうとき、あなたの中にあるイエス様からもらったものを見せられるといいね。

いの

祈り 天のお父様、わたしも、イエス様からもらったものをお友だちに見せることができますように。

## 5月30日（木）



使徒3・6

金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。 6節

ペテロは、自分のことをよく知っている人だったと思うの。イエス様が十字架につくときにうそをついてにげちゃった、弱くてかっこわるい人間だって。でも、ただの漁師だった、弱いダサい自分でも、だれにも負けない宝ものがあることがわかったの。それはイエス様！！

聖霊を受けたとき、イエス様が心の中に住んでくれること、イエス様がはげまし、勇気づけてくれること、イエス様が福音を伝える力や知恵になってくれることがわかったんだ！！

あなたはもう、イエス様をもらいましたか？イエス様がいるならば、どんなことにも負けないで、何度でも立ち上げられるんだよ！

いの

祈り 天のお父様、宝もののイエス様をもらって、どんなことにも負けないわたしでいたいです。

## 5月31日（金）



使徒3・7～8

歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。 8節

足の不自由な男が、イエス様のお名前ですくように命じられると、あらフシギ！足がみるみる元気になってびよ～んっと立ちあがったのです！そして、神様を心からさんびし、れいはいをしに行きました。「イエス様のお名前」とは、イエス様ご自身のこと。男の人はその日をすごす「お金」だけをもらうつもりだったのに、「イエス様ご自身」をいただいたのでした！

イエス様をいただくことが、人をこんなに元気にできること、神様をれいはいする生活にしてくれることがよ～くわかるおはなしですね。

いの

祈り 天のお父様、わたしもイエス様をいただき、元気いっぱいになり、あなたのすばらしさがもっとわかる生活をできますように。

## 6月1日（土）



使徒3・9～10

彼の身に起こったことについて、驚き怪しんだ。 10節

イエス様のしてくださることは、いつもふしぎと驚きでいっぱい！

このときも、足が治った男の人が驚いただけでなく、それを見ていた人たちみんな、びっくりぎょうてんしたって！

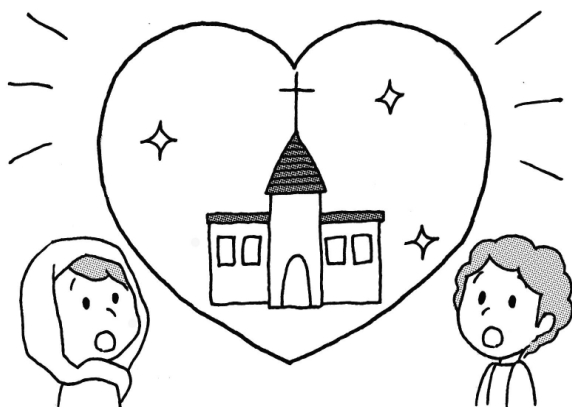
「何が起こったんだ！」「いったいこんなことができるのはどんなお方だ！」「どういうことだか知りたい！」そんな、人々をあっと言わせるほどの力がイエス様にはあるのです。

あなたも、イエス様がいっしょなら、あなたにしてくださったイエス様の救いのわざで、お友だちをあっと言わせられるんだよ。

いの

祈り 天のお父様、人々をあっと言わせる、力あるイエス様がいっしょにいてくださることを感謝し、イエス様と歩いていきます。





聖書

使徒5・1～11

テーマ

悔るべきではない神

暗唱聖句

教会全体ならびにこれを伝え聞いた人たちは、みな非常なおそれを感じた。

目標

使徒5・11  
神を畏れ、真実な生活をする。

6月2日(日)

聖書  
使徒5・11

教会全体ならびにこれを伝え聞いた人たちは、みな非常なおそれを感じた。 11節

あなたは、献金をささげるとき、どんな気持ちで献金をしますか？また、あなたが人を助けてあげる時、どんなことを感じますか？

わたしたち人間も、それから教会も、愛しあって、支えあって、神様に喜ばれるように生きていたいよね。

そのために一番大切なことはなんだと思いますか？それは「心」！うそのない心、あたたかい、やさしい、人と神様を思う心です。

初めてこの世界に教会ができたときもそうでした。自分がほめられることを思わず神様と人を思い、大切にしたら祝福されたの！

いのちの祈り

天のお父様、自分のことでなく、あなたと人々を思える心でいられますように。

6月3日(月)

聖書  
使徒5・1～2

代金をごまかし、一部だけを持ってきて、使徒たちの足もとに置いた。 2節

教会が初めてできたとき、みんな心を一つにし、神様のためにはたらきました。だれも、持ちものをひとりじめせず、みんなで分け合って助け合っていました。ある人は家や土地を売ったお金をみんなのためにささげました。

ところが！アナニヤとサツピラという夫婦は、持ちものを売ったお金をごまかして持ってきて、「これが全部です」という顔をしました。

ささげたんだからいいじゃない！と思う？でも、「ささげ方」はもっと大事！ごまかさず、ウソをつかず、すきとおったきれいな心でなければ、喜んでほもらえないですよ。

いのちの祈り

天のお父様、ささげるときの心が、あなたに喜ばれる心でいられますように。

6月4日(火)

聖書  
使徒5・3

どうしてあなたは、自分の心をサタンに奪われて、聖霊を欺き、地所の代金をごまかしたのか。 3節

神様を信じるすべての人が心を一つにできるってとってもすばらしいこと！年のちがい、性別、身分のちがい、色んなちがいがあっても、聖霊が与えられたなら愛しあって、支えあって、助け合っていけるんだ。

だけど、サタンはいつも、どうやってわたしたちを神様や教会から奪おうかとねらっています。お金や、好きなこと、自分がとくすることが目の前に来たとき、あなたがそれを正しく使えないことをサタンは知っているのです。

だからこそ、聖霊を欺いて悲しませてはならないのです、負けてはならないのです。

いのちの祈り

天のお父様、サタンに勝つ力をください。聖霊を悲しませない毎日をすごせますように。

## 6月5日（水）



使徒5・4

あなたは人を欺いたのではなく、  
神を欺いたのだ。 4節

神様がどれだけあなたによくしてくださっているか、かんがえたことはありますか？

あなたをつくり、あなたを守り、助け、愛して、ご自分の命よりも大切なイエス様を、罪の身代わりに十字架につけてくださいました。

その、神様からの恵みをわすれるとき、人は平気で罪をおかしてしまいます。

うそをついたとき、じょうずに人をだますことはできるかも。でも、神様をだますことはできませんよ。神様は、あなたが見てほしいことだけでなく、見ていてほしくないことも、何もかもを知っていて、正しい心で生きてほしいとねがっておられますよ。

**いの祈り** 天のお父様、うそをついてあなたに罪をおかすことがありませんように。

## 6月6日（木）



使徒5・5～6

アナニヤはこの言葉を聞いているうちに、倒れて息が絶えた。 5節

アナニヤは、ペテロの言葉を聞いているうちに、神様のさばきをうけて死んでしまいました。

教会の人たちは、神様がどれほど罪をおきらになるか、罪にどれほどきびしいかを、このじけんをとおして知りました。

どんなに小さな罪でも、それが教会の中に入っていくと、ちょうど風邪をひいたようにどんどんと体中に広がってしまうのです。

教会が神様に喜ばれ、健康でいるためには、どんな小さな罪も入ってはならないのです。

このじけんは、神様のきびしさだけでなく、教会を守り、成長させたいという、神様の愛であることも知っていてくださいね。

**いの祈り** 天のお父様、教会を守り成長させるために、きびしいさばきもなさることを知りました。

## 6月7日（金）



使徒5・7～10

彼女は「そうです、その値段です」と答えた。 8節

アナニヤが神様のさばきをうけて死んだことを知らないサツピラが、ペテロのところにやってきたとき、ペテロは「本当に、あの地所の値段はああなのか？」と、もういちど聞きました。

きっとサツピラはドキッとしただろうね。でも、ウソだなんて言えませんでした。

いちどウソをつく、そのウソをかくすためにまたウソをつくことになります。でも、大切なのは、ウソをウソでかくすことではなく、本当にそうなの？と聞かれたときにすなおになって「ウソをついてごめんなさい。」と神様や、ウソをついてしまった人におわびすることだね。

悔い改めのチャンスをはなさないでね！

**いの祈り** 天のお父様、せつかくの悔い改めのチャンスをにがすことがありませんように。

## 6月8日（土）



使徒5・10～11

それを運び出してその夫のそばに葬った。 10節

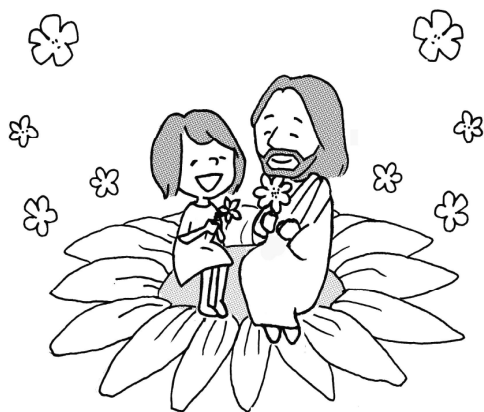
あなたは、罪をおかしてしまった人を見たらどんな気もちになりますか？「お前なんてしてるもんか！」とか「どっか行け！」って思う？

でもね、ペテロの教会の人を見て！死んだアナニヤとサツピラをきちんとお墓に入れてあげたい！どうしてだと思ふ？

それは、アナニヤとサツピラも神様に同じように愛されてきた人間だから。自分たちも、イエス様の十字架で罪を赦された人間だし、これからは、罪をおかすかもしれない弱い人間だから。いつでも、どんな人にも愛の心でせつすることが神様の御心だわかっていたんだね。

**いの祈り** 天のお父様、どんな人にも愛の心でせつすることができるよう。あなたに喜ばれる人間でいられますように。

はな ひ  
花の日



せいしよ  
聖書

Ⅱコリント 2・12～17

デーマ  
あんしやうせい  
暗唱聖句

キリストの香りとして

わたしたちをとおしてキリス  
トを知る知識のかおりを、至る  
所に放って下さる

Ⅱコリント 2・14

もくひやう  
目標

キリストを知る知識の香りを  
放って生きる。

6月9日(日)

せいしよ  
聖書  
せいいてく  
聖句

Ⅱコリント 2・14

わたしたちをとおしてキリストを  
知る知識のかおりを、至る所に  
放って下さるのである。 14節

今日は花の日です！皆さんはお花の香りをか  
いだことがありますか？お花の香りって、何だか  
幸せな気持ちになるからふしぎです。良い香り  
のするものは、みんなが大好きですね。だから、  
お花や果物の香りつきの消しゴムやペンは、い  
つも大人気！

イエス様のことを多くの人々に伝えたパウロ  
も、「香り」について書いています。お花や果物  
の香りについてかな？いえいえ、「キリストを  
知る知識のかおり」ですって。そんな香り、聞いた  
ことがない。どんな香りなんでしょう？

いの  
祈り

天のお父様、パウロが書いている「キリス  
トを知る知識のかおり」がいったいどんな  
香りなのか、教えてください。

6月10日(月)

せいしよ  
聖書  
せいいてく  
聖句

Ⅱコリント 2・12～13

兄弟テトスに会えなかったので、  
わたしは気が気でなく、人々に別  
て、マケドニアに出かけて行った。  
13節

イエス様のことを人々に伝えることが、いち  
ばんの幸せだったパウロ。でも、何だか元気が  
ありません。コリントの教会で働いていたテ  
トスから教会の様子を聞いたかかったのに、会え  
なかったのです。パウロは心が不安でいっぱい  
のまま、マケドニアへ出かけて行きました。

いつも元気いっぱいのイメージがあるパウロ  
だけど、不安な時があったんですね。でも、パ  
ウロったら、ちっとも幸せそうじゃないけど  
「香り」についてのお話はどなったの？

いの  
祈り

天のお父様、心が不安でいっぱいのパウロ  
がどなったのか、どんな「香り」のお話  
をするのか、教えてください。

6月11日(火)

せいしよ  
聖書  
せいいてく  
聖句

Ⅱコリント 2・12～14

しかるに、神は感謝すべきかな。神  
はいつもわたしたちをキリストの  
凱旋に伴い行き、 14節

パウロは続けて言います。「不安でいっぱい  
だったけど感謝します」って。わたしたちは、  
どんなにつらいことがあって、「もうダメだ～」  
と思うことがあっても神様は勝利させて下さる、  
というのです。それはまるで、勝者が行進を  
するように！

でも、どうして、つらくても勝利なのかな？  
それが、「キリストを知る知識のかおり」と関係  
があるんです。どういうことか、いよいよ明日、  
わかります！気になる～！！

いの  
祈り

天のお父様、つらい時も神様は勝利させて  
下さることを感謝します。明日、学ぶのを楽  
しみにします。

## 6月12日（水）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 2・12～14

わたしたちをとおしてキリストを知る知識のかおりを、至る所に放って下さるのである。 14節

つらいことがあっても、どうして勝利者なの？それは、神様はつらいことも用いて、イエス様のことを伝えさせて下さるから。つらくて「もうダメだ～」という時でも、ふしぎなようにそのことを通してイエス様のすばらしさが伝わっていくのです。しかもあちこちに！それが「キリストを知る知識のかおり」です！

どんな時でも、イエス様がどんなにすばらしいお方が伝わっていく香り。わたしたちからこんなすてきな香りが伝わっていったらいいですね！

いのちの祈り 天のお父様、キリストを知る知識のかおりについてわかりました。わたしを通して、イエス様のすばらしさが伝わりますように。

## 6月13日（木）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 2・15～16

わたしたちは、救われる者にとっても滅びる者にとっても、神に対するキリストのかおりである。 15節

ここでパウロは、もう一度、わたしたちは「キリストのかおり」だと言っています。イエス様のよう、愛でいっぱい生き方ができたら、すばらしいキリストの香りですね。

さらに、イエス様の十字架と復活についてお伝えすることができたら、本当にすばらしいキリストの香りです。イエス様を知らなかった人が、信じなかった人が、信じることができるようになったら、それは何よりもすばらしいことですから！！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のよう、愛でいっぱいの生き方を、そして十字架と復活をお伝えする香りになれますように。

## 6月14日（金）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 2・15～16

いったい、このような任務に、だれが耐え得ようか。 16節

パウロは、イエス様をお伝えする時はいつも真剣勝負でした。だって、信じる人には永遠の命が与えられて天国に行けますが、もし信じなかったら、永遠の滅びに向かって行ってしまうのですから！イエス様をお伝えするということは、責任重大なのです。パウロは、「わたしには、そんな大切な働きはふさわしくない」と思うほど、重い責任を感じていたのです。

パウロの真剣な気持ちが伝わってきます。わたしたちも、パウロの姿になりたいですね。

いのちの祈り 天のお父様、わたしもパウロのように、真剣にイエス様のことをお伝えしていきます。

## 6月15日（土）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 2・17

真心をこめて、神につかわされた者として神のみまえて、キリストにあって語るのである。 17節

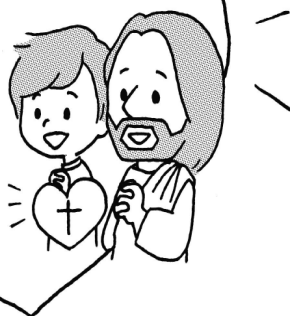
永遠の命か、永遠の滅びか、が決まってしまう重大な働きだからこそ！神様の面前でパウロは真心をこめて真剣にイエス様をお伝えしました。人の考えや人の都合の良いことは語りません。みことばをまっすぐに語りました、一人でも多くの人がイエス様を信じてほしいと願いながら。

パウロは、すばらしいキリストの香りを届ける人だったのです！わたしたちもパウロのあとに続こう！届けよう、キリストの香りを！！

いのちの祈り 天のお父様、パウロのように、真心をこめてキリストの香りを届ける人にならせて下さい。

ちち ひ  
父の日

Abba, Father!



せい しよ  
聖書

ガラテヤ 4・1～7

テ マ

神の子として

あんしやう せい いく  
暗唱聖句

「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊  
を送って下さったのである。

ガラテヤ 4・6

もく ひやう  
目標

神の子として、父なる神との  
親しい交わりの中で生きる。

6月16日(日)

せい しよ  
聖書

ガラテヤ 4・6

「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊を送  
て下さったのである。 6節

今日は父の日です！お父さんは、わたしたち  
のために働くだけでなく、わたしたちの知らない  
ところでたくさんくろうの苦勞をしているものです。  
今日は、特別にお父さんに感謝する日にしま  
しょうね。

聖書の中には、わたしたちの「お父さん」に  
ついて、たくさんかのことが書かれています、  
知ってた？えっ、だれ？！ほら、いつもお祈り  
しているでしょ、天のお父様てん。神様は、わ  
たしたちのお父さんなのです。神様がお父さん  
だなんて、ものすごいことですよ！

いの  
祈り

天のお父様、父の日をありがとうございま  
す。神様がわたしたちのお父さんであるこ  
とを感謝します。

6月17日(月)

せい しよ  
聖書

ガラテヤ 4・1～3

わたしたちも子供であった時には、  
いわゆるこの世のもろもろの霊力  
の下に、縛られていた者であった。

3節

ガラテヤ人の手紙が書かれた時代。子どもは  
将来、お父さんが持っているお金や財産をもら  
えるはずなんだけど、大人になるまでは絶対  
自由にはできなかったんだって。監督までいて、  
その人の言う通りにしないとダメだったのです。  
自由がなくて、きゅうくつだね。

パウロは、「わたしたちも、その子どもと同じ  
だったんだよ、全然自由がなくて縛られていた  
よ」と言います。まるで奴隷みたいに！わたし  
たちが奴隷ってどういうこと？

いの  
祈り

天のお父様、奴隷のように自由がないなん  
て、どういうことでしょう。教えて下さい。

6月18日(火)

せい しよ  
聖書

ガラテヤ 4・3

わたしたちも子供であった時には、  
いわゆるこの世のもろもろの霊力  
の下に、縛られていた者であった。

3節

奴隷は主人の言うことは何でも聞き、がん  
ばってほめてもらおうとします。同じように、  
がんばって良いことをしたら、神様はわたしを  
愛してくれる！と、わたしたちは思いがちです。  
もちろん良い行いは大切だけど、それはちがい  
ます。あなたがもし、そう思っていたら、それ  
はまちがった考えに縛られて奴隷になってい  
るのですよ。神様の愛はね、わたしたちが思う  
よりずっとずっと、大きくて深くてあたたかい  
愛なのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたの愛が、わたしが思う  
よりずっと大きいことを知りました。

6月19日（水）

聖書  
聖句

ガラテヤ4・4

神は御子を女から生れさせ、律法の下に生れさせて、おつかわしになった。  
4節

神様は、わたしたちが、良いことをしたくてもすぐ罪を犯してしまいやすい、弱い存在であることをよく知っておられます。だから、神様はそんなわたしたちのために、イエス様を生まれさせて下さったのです。良いことをしないと神様はわたしを愛してくれない、というまちがった考えから、わたしたちを救うため、神様の大きな愛を示すためです。イエス様を通して示された、神様の愛について、明日は読んでいきましょう！

いのちの祈り 天のお父様、わたしが罪を犯しやすくして弱いことを知っていて下さり、ありがとうございます。

6月20日（木）

聖書  
聖句

ガラテヤ4・4～5

わたしたちに与たる身分を授けるためであった。  
5節

神様がイエス様を通して、わたしたちに示して下さった愛。それは、イエス様がわたしたちの罪を全部背負って、十字架で罰を受けて下さったことです。イエス様はご自分の命と引きかえにして、わたしたちを救い出して下さいました。そのことを信じるなら、わたしたちは神の子とされるのです！大切なひとり子イエス様を送って下さるほどの、神様の愛がわかりますか。神様はわたしたちを、「神の子どもとしたい！」と心から願っておられるのです。

いのちの祈り 天のお父様、大切なひとり子イエス様を送ってまで、わたしを神の子としたいと願われた愛を心から感謝します。

6月21日（金）

聖書  
聖句

ガラテヤ4・6

「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊を送って下さったのである。  
6節

イエス様の十字架の救いを信じるなら、わたしたちは神の子です。イエス様の霊である聖霊様が心に住んで下さるので、イエス様みたいに神様のことを「お父さん！」と呼ぶことができるんです！「アバ」っていうのは、「パパ～」って呼ぶ、あんな感じです。神様にむかって、「天のお父様、聞いて下さい！」って親しく呼びかけましょう。「お父様～！」とあなたに呼ばれたら、神様は大喜びで耳をかたむけて下さいますよ！

いのちの祈り 天のお父様、これからはもっと親しく「お父様！」と呼びかけていきます。

6月22日（土）

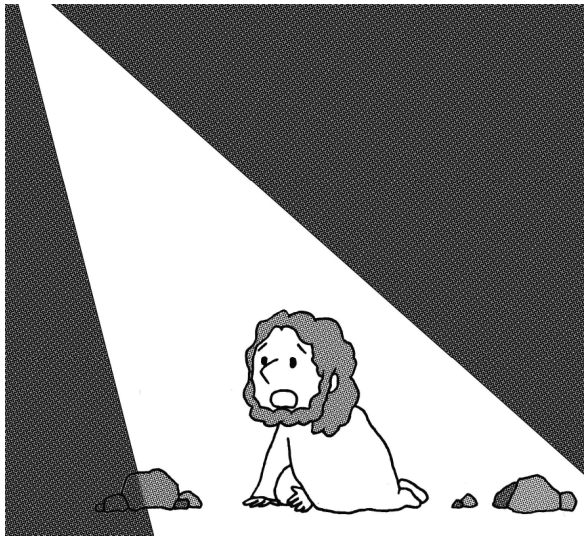
聖書  
聖句

ガラテヤ4・6～7

したがって、あなたがたはもはや僕ではなく、子である。  
7節

神様とわたしたちは、お父さんと子どもの関係になりました。「お父様！」と呼びかけることと同じくらい大切なことがあります。それは、天のお父様の声に耳をかたむけること。つまり聖書のみことばに耳をかたむける、ってことです。お父様！と呼びかけ、聖書からお父様の声を聞いて従うのです。それは決してきゅうくつではありません。あなたを愛して下さる天のお父様と親しく交わることは、なんて自由なんだろう～！幸せだなあ～！ときっとわかります。

いのちの祈り 天のお父様、あなたと親しく交われる幸せの中に、いつもいられますように。



聖書

使徒9・1～19

テーマ

天からの光に照らされて

暗唱聖句

天から光がさして、彼をめぐり照した。使徒9・3

目標

天からの光に照らされ、キリストによる新生の恵みに生きる。

6月23日（日）

聖書  
聖句

使徒9・1～3

天から光がさして、彼をめぐり照した。3節

皆さんは、どのようにしてイエス様と出会いましたか？お友だちに教会へ誘われて出会った人、生まれた時から教会に行っていて出会いましたという人、まだ出会ったのかよくわからない…という人、様々ですね。

今週の聖書の箇所にはサウロという人が登場しますが、この人、実はパウロです。イエス様に出会う前はサウロと呼ばれていました。そんな彼に、天から光がさして、彼はイエス様と出会うのです。今週は、サウロのイエス様との出会いの場面を読んでいきましょう！

いのちの祈り

天のお父様、サウロのイエス様との出会いの場面から、神様のみ声を聞かせて下さい。

6月24日（月）

聖書  
聖句

使徒9・1～2

サウロは、なおも主の弟子たちに対する脅迫、殺害の息をはずませながら、1節

サウロは、クリスチャンが大嫌いでした。「イエスが十字架にかかって復活したなんてウソだ！教会を荒らして、皆牢屋に入れてやる！」と怒りに燃えていました。それが正しいことだと思いこんでいました。サウロ、こわい…。こんなおそろしいことをしていた時があったなんて、びっくりですね。

イエス様がどういうお方か知らない、出会ったことがない時代がだれにでもあります。たとえ生まれた時から教会に行っても、イエス様が全然わからなかった時があるよね。

いのちの祈り

天のお父様、わたしもイエス様のことがよくわからなかった時があったのを思い出します。

6月25日（火）

聖書  
聖句

使徒9・3～6

天から光がさして、彼をめぐり照した。3節

サウロは、ダマスコという場所でクリスチャンをつかまえるため、道をいそぎました。その時！天からものすごく強い光がさして、サウロを照らしたのです！光の中から声が聞こえます…「サウロ、サウロ」「あなたはどなたですか」「わたしはあなたが迫害しているイエスだ」。サウロは大ショック！イエス様の十字架と復活なんてウソだと思っていたのに、まさか本当だったなんて、そんな…。

天からの光の中で、サウロはイエス様のみ声をハッキリ聞き、イエス様に出会ったのです。

いのちの祈り

天のお父様、サウロが天からの光の中で、イエス様と出会ったことがわかりました。

## 6月26日（水）

聖書  
聖句

使徒9・7～9

サウロは地から起き上がって目を  
開いてみたが、何も見えなかった。  
8節

天からの光に照らされたサウロは、目がまっ  
たく見えなくなりました。人々にダマスコにつ  
れていってもらい、目が見えないまま三日間、何  
も食わず飲まず、ひたすらお祈りしました。「イ  
エス様は本当に救い主だったんだ。クリスチャ  
ンを迫害することは、イエス様を迫害するのと  
同じことだったんだ。神様、おゆるしてください」。

天からの光はサウロの心の中の罪まで照ら  
しました。彼は今まで犯した罪を、神様の前で  
心から悔い改めたのです。心の中を光で照ら  
され、罪に気づくことは本当に大切なことです。

いの  
祈り 天のお父様、わたしの心も光で照らして  
下さい。心の中にある罪をどうぞおゆるし  
下さい。

## 6月27日（木）

聖書  
聖句

使徒9・10～16

わたしの名を伝える器として、わ  
たしが選んだ者である。 15節

サウロがいたダマスコに、アナニヤというク  
リスチャンがいました。そのアナニヤにイエス  
様は、「サウロの所へ行きなさい」と命じられ  
ました。アナニヤはびっくり！「サウロって、  
おそろしい迫害者のはずなのに…」しかしイエ  
ス様は、「彼は、わたしのことを伝える人として、  
わたしが選んだのだよ」と言われました。

アナニヤは「こわい」という思いがあつたで  
しょう。しかし、イエス様に従う決心をしまし  
た。イエス様のみことばという光にいつも照ら  
されて、みことばに従う人だったのです。

いの  
祈り 天のお父様、わたしもアナニヤのように、  
みことばの光に照らされて従う人になれ  
ますように。

## 6月28日（金）

聖書  
聖句

使徒9・17

そこでアナニヤは、出かけて行って  
その家にはいり、手をサウロの上に  
おいて言った。 17節

アナニヤはサウロがいる家に行き、サウロの  
上に手をおき、こう呼びかけました。「兄弟サ  
ウロよ。教会ではクリスチャン同士を兄弟  
姉妹と呼び合いますね。アナニヤは、自分を迫害  
しようとしていたサウロをゆるし、イエス様を  
信じる「兄弟」とやさしく呼んだのです。普通  
なら、「あやまりなさい！」と厳しく言うところ  
なのに。

サウロはアナニヤを通して、イエス様の愛と  
ゆるしの光に照らされたのでした。あなたも今、  
同じ光に照らされています。

いの  
祈り 天のお父様、イエス様の愛とゆるしを心か  
ら感謝します。

## 6月29日（土）

聖書  
聖句

使徒9・18～19

サウロの目から、うろこのようなも  
のが落ちて、元どおり見えるようにな  
った。 18節

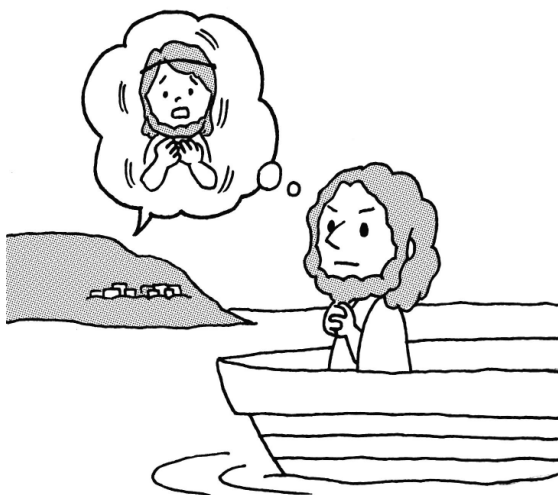
アナニヤに手をおいてもらったサウロの目か  
ら、ポロッ！と何かが落ちました。涙？いえ、  
「うろこのようなもの」ですって。そしてサウ  
ロは元どおり見えるようになりました。

それだけではありません。サウロはイエス様  
を信じて罪ゆるされ、神の子として新しく生ま  
れる経験をしました。このことを「新生」と言い  
ます！

わたしたちの上にも、イエス様のみことばの  
光がさしています。イエス様を信じて、サウロ  
のように新生の恵みを体験しましょう！

いの  
祈り 天のお父様、罪がゆるされて、神の子とし  
て新しく生まれたことを心から感謝しま  
す！





聖書

使徒16・6～10

テーマ

マケドニアからの叫び

暗唱聖句

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。

目標

使徒16・9  
救いを求めている人々を覚え、宣教への招きに応答する。

6月30日(日)

聖書  
使徒16

使徒16・9

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

イエスを信じてからのパウロ(サウロ)は、多くの人にイエス様をお伝えする人になりました。周囲の人はびっくり。「あの人はイエス様を信じたのね!」とクリスチャンは大喜び。クリスチャンを迫害するユダヤ人は「あの裏切り者め!」とパウロの命をねらい始めたのでした。

パウロは伝道だけでなく、いろんな教会を訪ねて励ます働きもしました。そんな中で、パウロはマケドニア人の幻を見ます。この幻には、神様の大切なメッセージがこめられていたのです。

いのちの祈り 天のお父様、パウロが見た幻にこめられた大切なメッセージがよくわかりますように。

7月1日(月)

聖書  
使徒16

使徒16・6～7

アジアで御言を語ることを聖霊に禁じられた 6節

「次はアジアでイエス様を伝えよう」と、パウロと仲間たちは旅をつづけようとしてしました。ところが!聖霊様が、「アジアでは語らないように」と禁じられたのです。ええ?!みことばを語ることは大切なことなのに、止められちゃうなんて、そんなことあるの??パウロたちは「おかしいなあ…」と思いましたが、またしても聖霊様に「こっちはダメ!」と止められてしまいました。

どうして?と悩んでしまいますが、これには神様のふか〜いご計画があったのです。

いのちの祈り

天のお父様、神様が「ダメ」と言われる時も、深いご計画があるとわかりました。

7月2日(火)

聖書  
使徒16

使徒16・6～8

それで、ムシヤを通過して、トロアスに下って行った。 8節

アジアに行くことを聖霊様に止められ、その命令に従って行きついた場所は、トロアスという港町。パウロたちが全然予定に入れていない所でした。目の前の海を見ながら、「何でこんな所に来たのかなあ…」と考えました。でも、聖霊様に導かれてたどりついたのは確かなこと。

パウロたちは、神様が道を開かれるのを祈って待ちました。これは、彼らにとって大切なことでした。自分の思いではなく、神様に従っていくことを教えられたのです。

いのちの祈り

天のお父様、わたしも自分の思いではなく、神様に従っていけますように。

# 7月3日(水)

聖書  
聖句

使徒16・9

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

港町トロアスでの夜、パウロは一つの幻を見ました。海のむこうのマケドニアに住むひとりの人が、「わたしたちを助けて下さい」とパウロにお願いするのです。しかも、「お願いします、助けて…！」と心の底から願っている様子。「マケドニアに行きなさいってこと?!」そこはパウロたちが行こうとは考えもしなかった場所でした。パウロはびっくり。

神様は、わたしたちの考えや予定とまったくちがう道を開かれることがあるのです。

いのちの祈り 天のお父様、神様はわたしが考えているのとちがう道を開かれることがある、とわかりました。

# 7月4日(木)

聖書  
聖句

使徒16・10

神がわたしたちをお招きになったのだと確信して、 10節

「神様はわたしたちを、マケドニアに招いている。そこにイエス様の救いを必要とする人々がいるんだ!」。パウロはすぐに確信しました。

アジアに行こうとして、二度も聖霊様に止められ、トロアスに来てしまったこと。「すべてはマケドニアに行くためだったんだ!」とパウロは神様のみこころを知ったのです。「何でこんな所に来たの…」という思いは、もうありません。神様のみこころに従うことは、パウロのいちばんの喜びだったからです!

いのちの祈り 天のお父様、わたしも神様のみに従うことが、いちばんの喜びになりますように。

# 7月5日(金)

聖書  
聖句

使徒16・10

わたしたちは、ただちにマケドニアに渡って行くことにした。 10節

あなたは、神様のみにこころがわかった時、どうする? 「ハイッ神様、すぐ従います!」って言いますか? 「え〜と、従うんですけど、待って〜」とモタモタすることもあるかもしれませんね。

パウロたちのすごいところは、「よし、マケドニアにすぐ行こう!」とすぐに従うところ。神様が共にいて下さるから大丈夫! と信じているからです。あれこれ心配するとモタモタしちゃうけど、神様は共にいる! と本当に信じていたら、すぐに行動、すぐに従うことができます。

いのちの祈り 天のお父様、神様が共にいて下さると信じて、すぐに従えますように。

# 7月6日(土)

聖書  
聖句

使徒16・6~10

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

トロアスから出港して、マケドニアに渡ったパウロたち。その後、大変なことはたくさんありましたが、マケドニアにイエス様を信じる人が次々起こされました。神様がどんな時も共におられたからです。

あなたの周りには、実は「助けて下さい」とさけんでいる人がいるのです。学校でいつも会う、あの子。近所に住む、お友だち。イエス様の十字架の救いを待っている人がたくさんいます。行こう、イエス様を伝えに。イエス様を信じる仲間たちと一緒に、行こう! 神様の招きにこたえて!

いのちの祈り 天のお父様、救いを待っているお友だちに、イエス様のことを伝えていきます!